



2025年度

漢検

公益財団法人

日本漢字能力検定協会

〔不許複製〕

文章読解・作成能力検定準2級F 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2026年
1月30日



第1問 【30点】

問1 1 ア 2 ウ 3 エ 4 ア 5 ア

問2 1 イ 2 エ 3 エ

第2問 【30点】

問1 ア

問2 エ

問3 イ

第3問 【30点】

問1 ウ

問2 エ

問3 イ

第4問 【40点】

問1 1 法 ↓ 報

2 お願いになります ↓ お願いいたします／お願い申し上げます

3 正直な

問2

解答例

十年前までのA町商店街のことは図書館の本でよくわかりました。しかし、十年前から現在までのことは、まだよくわかりません。そこで、商店街のみなさまにインタビューでお話を伺いたいです。

(25字×4行)

裏へ続く

作成例1 「目標のレベルを下げる」とい「立場

現在高校2年生である私は、高校入学時から語学の検定試験への挑戦を続けてきた。この検定で2級以上に合格すれば、大学入試の際に外国語の受験免除が期待できるからだ。検定試験の勉強を始めた当初の私は、いきなり2級を受検して合格することを目指した。だが、いざ単語集や問題集を買い込んで取り組みはじめたところ、その内容は自分の実力をはるかに超えていた。私は、このままでは何も身につかないと判断し、思い切って目標を3級に下げた。すると、易しくなった内容が頭に入るようになって学習がはかどり、合格することができた。そして、この経験を土台に、次の試験では2級に合格することができた。

目標を立てて何事かに取り組んでいると困難に直面することがある。そのようなときには、目標のレベルを下げるとういと考える。

困難に直面するのは、目標が高すぎて現在の自分に可能な取り組みの限界を超えているからである。目標のレベルを下げるにより、達成に向けて取り組みべき内容が容易となり目標達成の可能性を高めることができる。目標のレベルを下げてなくても、現在の指導者や教材を変えることによって困難を乗り越えることができるという意見もあるだろう。しかし、新たな指導者や教材が自分に合っているとは限らない。目標のレベルを下げる方が確実である。

作成例2 「目標のレベルを下げるのはよくない」立場

私の所属するバスケットボール部は、創部以来、地区大会優勝を目指してきた。しかし、同じ地区には強豪校がひしめいている。追いつき追い越そうと練習を重ねても足元にも及ばない状況が続く、これまでの最高成績はベスト8進出にとどまっている。そのため今年は、地区大会の目標をベスト4進出に引き下げ、確実なステップアップを目指すことになった。ところが、レベルの近い学校に確実に勝つための練習となったことにより、知らず知らずのうちに練習の強度が落ちてしまった。地区大会を前にした練習試合では連敗が続く、ベスト8進出も怪しい状況に陥っている。

目標を立てて物事に取り組んでいるとき、うまくいかなければ目標のレベルを下げるべきことがある。しかし、目標のレベルを下げるのはよくないと考える。

目標のレベルを下げると、実力の大幅な向上は不要だと思うようになり、目標達成に向けての取り組みが甘くなる。結果として、レベルを下げた新たな目標の達成すら危うくなりかねない。

もし目標を達成できなかったら、何も得られないことになるのだから、達成が困難な目標は下げるべきだという意見もある。しかし、目標を達成できなかったとしても、目標達成にむけた過程で得た知識や能力は備わる。また、その知識や能力は、次の目標に挑戦するときに生かすこともできる。よって、何も得られないということはない。

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の順序・つながりの言葉が適切であるか	8
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

【A】: 事実 【B】: 意見 【C】: 理由 【D】: 異なる意見とそれに対する反論

チェックポイント	配点
構成: 事実・意見・理由・異なる意見とそれに対する反論の4段落になっており、段落の関係は論理的であるか	20
第1段落: 事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落: 自分の意見が、はっきりと示されているか	5
第3段落: 意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
第4段落: 異なる意見は反対の立場のもので、それを否定する反論が述べられているか	5
表記: 誤字脱字などのミスがないか	10
表現: 語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。



2025年度

漢検公益財団法人 日本漢字能力検定協会 不許複製

文章読解・作成能力検定 3級F 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2026年
1月30日



第1問 【30点】

- 問1 1 ウ 2 ウ 3 ア 4 ア 5 イ
- 問2 1 イ 2 ウ 3 ウ

第2問 【30点】

- 問1 ア
- 問2 ウ
- 問3 イ

第3問 【30点】

- 問1 ウ
- 問2 イ
- 問3 ウ

第4問 【40点】

- 問1 1 抱負→豊富
- 2 お願いなさいます↓お願いいたします
- 3 ただし

問2

解答例

私たちは帰りの空港で、民宿に荷物を一つ置き忘れたことに気づきました。それで、私も弟も、どうすればよいか分からず困っていました。すると、南さんが車で荷物を届けてくださいました。

裏へ続く

作成例1 「ストレートに尋ねるのがよい」立場

友人の誕生日が近づいてきて、プレゼントを何にしよ
うか考えていたときだ。何が喜んでもらえるかがわから
なかった。ので、思い切って本人に尋ねた。すると「手袋
が欲しい」という返事だった。色や形などの希望もしっ
かり聞き出し、翌日から友人の希望にぴったり合うよう
な手袋を探した。何日かかけて、思い描いていた手袋を
見つけることができ、それを無事プレゼントできた。友
人は「大事に使うよ」ととても喜んでくれた。
だれかにプレゼントをするとき、何を贈ればいいか悩
むことがある。そんなときは、何が欲しいかは相手にス
トレートに尋ねるのがよい。
なぜなら、プレゼントをあげても、それが相手にとつ
て気に入らないものだったり不要なものだったりしては
意味がないと思うからだ。その点、本人に聞けば欲しい
ものが確実にわかる。本人に尋ねることで、相手に間違
いなく喜んでもらえるプレゼントができる。

(25字×16行)

作成例2 「ストレートに尋ねるのはよくない」立場

何年前のことだ。私が資格試験に合格したのを祝つ
て、友人が何かプレゼントをしたいと言ってきた。それ
で「何が欲しいか」とストレートに質問された。わざわざ
プレゼントを用意してもらおうのが心苦しく、また自分
からねだるような行為もしたくなく、「何でもいいし、
何ならいらないし」と答えるのが精一杯だった。だが、
それでも友人は「今欲しいものとか、あったらいいなと
思うものとかはないか」と重ねて尋ねてきた。それを聞
いたとき、自分でプレゼントを考えるのが面倒なのかな
と思ってしまった。
人にプレゼントをあげるとき、相手に喜んでほしいと
思う。だからつい、欲しいものは何かと相手にストレ
ートに尋ねたくなるが、それはよくない。
こちらのことを考えてこれを選んでくれたんだな、手
間や時間をかけて何がいいか考えてくれたんだな、と思
うのもプレゼントをもらう喜びの一つだ。相手に直接欲
しいものを尋ねるのは、そうした相手を思う気持ちがあ
い受け取られる。手抜きのように思われ、悪印象を与
えることになる。

(25字×19行)

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1)内容のまとまりごとに分割されているか	8
(2)傍線部の内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3)誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

【A】: 事実 【B】: 意見 【C】: 理由

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由の3段落になっており、事実／理由が意見に結びつくものになっているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。



第1問 【40点】

- 問1 1 ア 2 ア 3 ウ 4 ア 5 ウ
問2 1 ア 2 ウ 3 イ 4 イ 5 ウ

第2問 【20点】

- 問1 ウ
問2 イ

第3問 【40点】

- 問1 ウ
問2 イ
問3 ア
問4 イ

第4問 【40点】

- 問1 ウ
問2 イ
問3 ア

問4

解答例

展示の種類はさまざまで、その数もとて多かったです。
展示の中には、私にはすぐに理解できないものもありま
した。しかし、小林様のご説明で、展示の内容を理解す
ることができました。

(25字×4行)

B

がまんして続けることがよい。 (25字×13行)

A

がまんして続ける方がよい」立場

作成例1 「がまんして続ける方がよい」立場

小学校四年生の時に、地元のバスケットボールチームに入った。同じ学年の友人もいて、楽しいスタートがきれたと思っていた。しかし、3か月たったころ、友人が、日曜日に遊びに行けないことや、練習のしんどさがいやがさしたと言ってやめた。私も、練習がきついと感じていたが、できる限りがんばろうと思った。そうやっていくうちに、技術がどんどん上達し、練習が楽しくなった。また、少々のことではあきらめない強い気持ちも養われた。私の様子を見て、友人は、もう少し続けてみればよかったと言っていた。

がまんして続けることで、上達し、あきらめない力も養われる。習い事や部活動がいやになってやめたいと思っても、がまんして続ける方がよい。

B

いやだという感情は、強いストレスになる。習い事や部活動がいやになってやめたいと思ったときにはがまんせずにやめる方がよい。 (25字×14行)

A

がまんせずにやめる方がよい」立場

作成例2 「がまんせずにやめる方がよい」立場

中学生になり、吹奏楽部に入部した。しかし、ある先輩がとても厳しく、少しのミスでも怒られるので、先輩のまえて演奏するのが怖くなってしまった。しだいに、部活を休む日も多くなり、部員と顔を合わせるのもいやになってしまった。そんな状況が続くのがつらくて、悩んだ末に、部活をやめることにした。やめたいと言いだすのは、正直なところ勇気がいった。しかし、やめてみると、先輩に怒られたり、部活に行けなかった自分を責めたりする日々がなくなり、心が軽くなった。こんなことならがまんして続けず、もっと早くにやめればよかったと思った。

いやだという感情は、強いストレスになる。習い事や部活動がいやになってやめたいと思ったときにはがまんせずにやめる方がよい。

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問4 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の続き具合が不自然でないか	6
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	14
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (60点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見

チェックポイント	配点
構成: 事実・意見の2段落になっており、事実は意見を支えているか	20
第1段落: 事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落: 自分の意見が、はっきりと示されているか	10
表記: 誤字脱字などのミスがないか	10
表現: 語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数^{ちょうか}超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。